



かがやく浜の子

平成30年2月5日

『本気のあさしおごはん』 本気の始動

「行ってしまう」と言われる1月があつという間に過ぎ、「逃げてしまう」と言われる2月が始まりました。白羽の冬は芋切り干しを生んだ強い風が吹き渡ります。しかし、子どもたちは、毎日元気に登校してきてくれる。当たり前の風景が愛しく感じられます。

12月に新しくなった「あさしおごはん」の看板にこたえるように、子どもたちのあいさつの輪が広がっています。あいさつ委員会の子どもたちと担当教員を中心に委員会毎、学級毎に様々な取組が始まりました。教師の仕掛けによって子どもたちの主体性が引き出され、あいさつの高まりへとつながってきています。でも、それは特別なことではありませんでした。例えば、あいさつ委員会は、「朝のあいさつの声をもっと大きくしたい」という問題意識から「毎週各学級のあいさつチャンピオンを決めてもらおう」と働き掛けを始めました。選ばれた子たちは次の1週間「あいさつバッチ」をつけて学校生活を送ります。みんなのよいお手本が増えれば、あいさつの輪はもつともつと広がる、声も大きくなると思ったからです。環境委員会の子どもたちは、掃除の放送でみんなが大きな声で「始めましょう」と「終わりましょう」のあいさつができるように放送の仕方を考えています。キーワードの「本気」という言葉をアナウンスに入れるとみんなの声が大きくなることも実感しました。「あさしおごはん」を白羽小学校の自慢や宝にするために各委員会の子どもたちに課題を投げかけるという教師の仕掛けによって、子どもたちは自らをふり返り、よりよい解決方法を考え、主体的に取り組もうとする力や可能性を表出してくれるのだと考えます。本校の「本気のあさしおごはん」の新たな始動に、どうぞ保護者や地域の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。朝のお忙しいときかと思いますが、ほんの少しのお時間で結構です。2月13日(火)スクラムの日に白羽小校門前で子どもたちの本気のあさしおごはんを見届けていただけませんか。お待ちしております。(通学路でも結構です！)

(校長 増田久美子)



2月13日(火)はスクラムの日

【あさしおごはん】 ありがとうございます さようなら しつれいします しつれました

おはようございます ごめんなさい こんにちは はい さん、くん

来月は、平成30年3月12日(月)です。よろしく願いいたします。